第53回大阪府医療審議会資料
（令和2年3月30日）

資料3-2

2019年度各地域医療構想区域における協議結果（概要）

（1）公立・公的病院における具体的対応方針再検証要請病院における協議結果

【凡例】公立：新公立病院改革プラン対象病院、公的1：公的プラン対象病院（民間の地域医療支援病院、特定機能病院除く）、公的2：公的プラン対象病院（民間の地域医療支援病院、特定機能病院）、民間等：公立、公的1、公的2以外の病院□

	二次医療圏	市町村	区分	医療機関名	自施設が有する医療機能（5疾病4事業及び在宅医療に関する事項）										厚労省分析結果※		現状の病床数						2025年に予定している病床数						2025年と現状との差（色の濃いセルは医療法上の過剰病床）						2025年に向けた病院の方向性						協議結果（保健医療協議会での意見等）
					がん	脳卒中	心筋梗塞等	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	A項目	B項目	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働（休床中）	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働（休床中）	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働（休床中）	他の病院との再編・統合	経営譲渡	ダウンサイジング	回復期への転換	診療機能の見直し	＜方向性の概要＞	
1	豊能	吹田市	公的1	大阪市立弘済院附属病院		○		○	○		○			○	●	—	90	0	90	0	0	0	120	0	120	0	0	0	30	0	30	0	0	0	○					○現在、大阪市南部基本保健医療圏に2024年以降、新病院を整備し、弘済院の機能を移転する方向で検討が進められており、機能移転後、弘済院附属病院は廃止の予定。 ○具体的な計画の提示が1年遅れることとなったため、次年度での協議をお願いしたい。	継続協議
2	三島	高槻市	公的1	高槻赤十字病院	○	○	○	○		○		○	○	○		●	446	6	381	0	0	59	393	6	387	0	0	0	▲ 53	0	6	0	0	▲ 59			○		○	○2019年5月に非稼働病床7床を削減済み。現在休棟している第2病棟（46床）については、地震による損傷により利用が難しく2020年に削減予定。 ○救急は重症患者を積極的に受け入れている（月に約200件の救急車受入れの50%超が入院）。 ○災害医療は日赤の理念に基づき、取組んでいる。 ○小児はダウン症の専門医に来てもらう等、地域の需要に応えられるよう診療体制を拡充した。がんは大阪府のがん診療拠点病院として、特に血液疾患に注力している。 ○分娩については一時休止予定。	合意
3	三島	高槻市	公的2	社会医療法人仙養会北摂総合病院	○	○	○	○			○	○	○	○		●	217	14	203	0	0	0	217	14	203	0	0	0	0	0	0	0	0	0					○	○分娩は地域の産婦人科に任せるが、産科外来、婦人科診療は継続する。 ○小児は他病院と連携しながら地域のコミュニティ病院として診療を行っていく。 ○救急、がんの強化に向け、外来新棟の建設を検討する。	合意
4	中河内	柏原市	公立	市立柏原病院	○	○	○	○			○	○	○	○		●	220	4	199	17	0	0	220	4	149	67	0	0	0	0	▲ 50	50	0	0				○		○2019年、急性期一般1（急性期）44床を地域包括ケア2（回復期）に転換。急性期一般1（急性期）6床を緩和ケア（回復期）に転換し在宅医療のバックアップ体制を構築。 ○従前の小児科土・日午前の時間外診療に加え、2019年1月より小児救急の輪番体制（月曜日夜間）に参画。 ○柏原市内で分娩できる唯一の施設であることから小児周産期医療の充実を図っていく。 ○2016年4月に大阪府がん診療拠点病院の指定を受け、今後もがん診療の充実を図っていく。	合意
5	中河内	東大阪市	公的2	社会医療法人若弘会若草第一病院	○	○	○	○			○	○		○		●	230	8	222	0	0	0	230	10	220	0	0		0	2	▲ 2	0	0							○2018年6月に救急医療の充実のため、特定集中治療室管理料3（高度急性期）8床と急性期一般1（急性期）2床を特定集中治療室管理料1（高度急性期）6床とハイケアユニット入院医療管理料1（高度急性期）4床に変更。 ○脳卒中急性期医療を提供するため包括的脳卒中センターの認定に向けて整備中。	合意
6	南河内	藤井寺市	公立	市立藤井寺市民病院	○	○		○			○			○		●	98	0	98	0	0	0	98	0	98	0	0	0	0	0	0	0	0	0						○病床機能の転換予定は無し。 （将来的には10床程度のダウンサイジングを検討している旨、説明あり）	継続協議 【協議会での意見概要】 現状維持のプランではなく、病院の方向性について、再度検討してもらいたい。
7	南河内	富田林市	公的1	済生会富田林病院	○	○	○	○			○	○	○	○		●	300	0	250	50	0	0	260	0	210	50	0	0	▲ 40	0	▲ 40	0	0	0			○			○2016年度に再建計画をスタートし、2020年秋ごろ、新病院第1期オープン予定。 ○急性期一般入院料1(急性期)250床のうち40床を減床予定。 ○産科については医師の若返りを図る等機能を充実させる方針。 ○小児科は登校拒否など多様な問題に対応できるよう医師を調整中。 ○救急医療では積極的な受入れを行い、地域貢献を図っている。 ○済生会の理念により、社会的困窮者への対応を含め、地域密着型の経営を行っていく。	合意
8	泉州	和泉市	公立	和泉市立総合医療センター	○	○	○	○			○	○		○		●	307	134	149	24	0	0	307	134	149	24	0	0	0	0	0	0	0	0						○2018年4月1日に病院を新築移転。 ○ハイケアユニット入院医療管理料2（高度急性期）8床を特定集中治療室管理料3（高度急性期）への転換を検討。	合意
9	泉州	阪南市	公立	社会医療法人生長会阪南市民病院	○	○		○			○	○	○	○	●	●	185	4	139	42	0	0	185	7	136	42	0	0	0	3	▲ 3	0	0	0					○	○2019年に地域の小児医療を支援するために、急性期一般1（急性期10床）をHCU（高度3床）と小児入院医療管理料4（急性期7床）に転換。	合意
10	泉州	泉南市	公的1	社会福祉法人済生会支部大阪府済生会新泉南病院		○	○	○			○			○	●	●	26	0	26	0	0	0	26	0	0	26	0	0	0	0	▲ 26	26	0	0				○		○2019年に地域包括ケア病棟入院料1（急性期）26床を地域包括ケア病棟入院料1（回復期）に転換。 ○運営法人の方針として無料低額診療を積極的に実施している。	合意
11	大阪市（北部）	北区	公的1	健康保険組合連合会大阪中央病院	○		○	○			○			○	●	—	143	0	143	0	0	0	143	0	143	0	0	0	0	0	0	0	0	0		○				○健康保険組合連合会の経営状況の厳しさから、2020年夏ごろに民間医療機関に譲渡予定。	合意

※平成29年度病床機能報告における平成29年6月診療実績分を主に分析している。

2019年度各地域医療構想区域における協議結果（概要）

（2）継続協議となった病院一覧

【凡例】公立：新公立病院改革プラン対象病院、公的1：公的プラン対象病院（民間の地域医療支援病院、特定機能病院除く）、公的2：公的プラン対象病院（民間の地域医療支援病院、特定機能病院）、民間等：公立、公的1、公的2以外の病院□

	二次医療圏	市町村	区分	医療機関名	自施設が有する医療機能（5疾病4事業及び在宅医療に関する事項）										現状の病床数						2025年に予定している病床数						2025年と現状との差（色の濃いセルは医療法上の過剰病床）						2025年に向けた病院の方向性＜方向性の概要＞	保健医療協議会での意見等
					がん	脳卒中	心筋梗塞等	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働（休床中）	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働（休床中）	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働（休床中）		
1	中河内	東大阪市	民間等	医療法人恵生会 恵生会病院	○	○		○		○	○	○		○	184	0	78	58	48	0	184	0	96	40	48	0	0	0	18	▲ 18	0	0	○2019年8月、小児科の入院受け入れ開始により、地域包括ケア病棟2（回復期）4床を急性期一般2（急性期）に転換。 ○今後、消化器内科や整形外科の強化の為、地域包括ケア病棟2（回復期）14床を急性期一般2（急性期）に転換を検討中。	病床転換計画の詳細がまとまり次第、保健医療協議会等において協議が必要と、文章通知が必要。
2	中河内	東大阪市	民間等	医療法人藤井会 石切生喜病院	○	○	○	○		○	○			○	331	10	321	0	0	0	331	171	160	0	0	0	0	161	▲ 161	0	0	0	○急性期一般4（急性期）161床を高度急性期への転換を検討中（時期未定）。 ※入院料も変更する可能性あり。	病床転換計画の詳細がまとまり次第、保健医療協議会等において協議が必要と、文章による通知が必要。
3	南河内	羽曳野市	民間等	医療法人はぁとふる運動器ケアしまだ病院		○				○	○			○	88	0	43	45	0	0	88	0	88	0	0	0	0	0	45	▲ 45	0	0	○地域包括ケア病棟入院料2(回復期)45床を急性期一般入院料1(急性期)45床へ転換を検討中。	大阪府の基本的考え方（「過剰な病床への転換は控えるべき」）を文章により、当該病院に通知することについて、確認。
4	堺市	南区	民間等	医療法人啓仁会 堺咲花病院		○		○		○				○	310	0	180	0	0	130	310	0	100	150	60	0	0	0	▲ 80	150	60	▲ 130	○2020年4月以降、非稼働病床130床と急性期一般入院料7（急性期）80床を、地域包括ケア病棟入院料2（回復期）へ100床、回復期リハビリテーション病棟入院料1（回復期）へ50床、療養病棟入院料2（慢性期）へ60床を転換予定。	従来、急性期であった非稼働病床を慢性期として稼働を検討していること等については、引き続き協議が必要。
5	泉州	泉大津市	公立	泉大津市立病院	○	○	○	○		○	○	○	○	○	230	6	208	16	0	0	230	6	208	16	0	0	0	0	0	0	0	0	○泉大津市立病院及び府中病院が地域医療連携推進法人を念頭に統合再編、高度急性期機能を統合した新病院、現泉大津市立病院を小児周産期を専門とした病院、現府中病院を回復期と地域包括ケアの中心とした病院とし、2病院を3病院に再編予定（2023年度以降予定）。	泉大津市立病院と府中病院の再編の方向性について、一定合意するが、新たな病院の医療機能や役割、病床規模について、引き続き協議が必要。
6	泉州	和泉市	公的2	社会医療法人生長会府中病院	○	○	○	○		○	○	○		○	380	168	186	26	0	0	380	168	186	26	0	0	0	0	0	0	0	0		
7	大阪市（北部）	東淀川区	民間等	医療法人医誠会 医誠会病院	○	○	○	○		○	○			○	327	30	297	0	0	0	327	98	229	0	0	0	0	68	▲ 68	0	0	0	○2023年4月、医誠会病院と城東中央病院を統合の上、北区扇町へ移転を検討。 【医誠会病院が有する病床の機能変更】 ○急性期（急性期一般1）68床を高度急性期（特定集中治療室・総合周産期特定集中治療室・新生児特定集中治療室）へ転換予定。 ○2023年4月北区扇町へ医誠会病院との統合移転を検討している。 【城東中央病院が有する病床の機能変更】 ○慢性期（障害者10対1）91床を回復期（急性期一般1）へ転換予定。	下記点について、疑義あり継続協議が必要。 ①小児周産期医療体制（NICU等）の整備 ②新病院における医師・看護師等の人材確保 ③将来予定している病床機能のうち「回復期」が入院料と整合性がとれていない。
8	大阪市（東部）	城東区	民間等	医療法人医誠会 城東中央病院	○	○		○		○				○	233	0	115	27	91	0	233	0	115	118	0	0	0	0	0	91	▲ 91	0		
9	大阪市（東部）	生野区	民間等	医療法人吉栄会 吉栄会病院		○		○						○	61	0	0	61	0	0	61	0	21	40	0	0	0	0	21	▲ 21	0	0	○回復期（地域一般3）21床を急性期（緩和ケア1）へ転換予定。	病床機能の転換について、近隣病院・地区医師会等に説明の上、同意を得ることが必要。
10	大阪市（南部）	平野区	民間等	医療法人 正和病院		○		○		○	○			○	165	0	21	30	107	7	165	0	58	54	53	0	0	0	37	24	▲ 54	▲ 7	○慢性期（療養）107床のうち、1病棟54床を年内に回復期（地域包括ケア1）へ転換予定。 ○現在、急性期21床、回復期（地域包括ケア病床）30床で1病棟としており、約半年後には混合病棟となっている回復期（地域包括ケア病床）をすべて急性期（急性期一般4）へ転換予定。 ○非稼働病床7床については療養病床から一般病床への変更に伴い、再稼働する。	病床機能の転換について、近隣病院・地区医師会等会に説明の上、同意を得ることが必要。